

2022年12月期 決算説明資料

**2023年2月
株式会社福田組**

証券コード：1899

目次

1. 会社概要	P3
2. 2022年12月期決算概要	P6
3. 2023年12月期通期見通し	P12
4. 中長期経営計画の現状と今後	P17



会社概要

会社概要：120年の歴史を持つ新潟県の建設会社

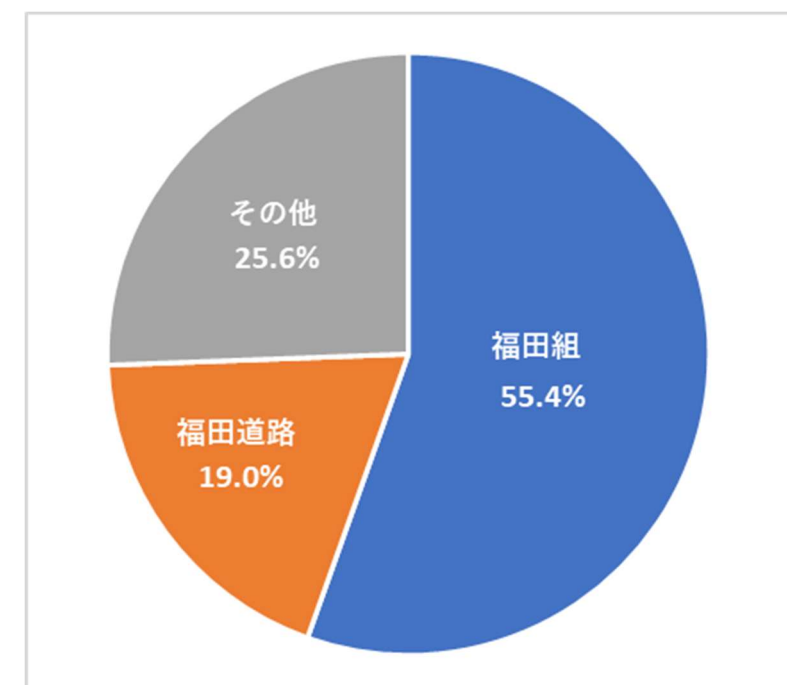
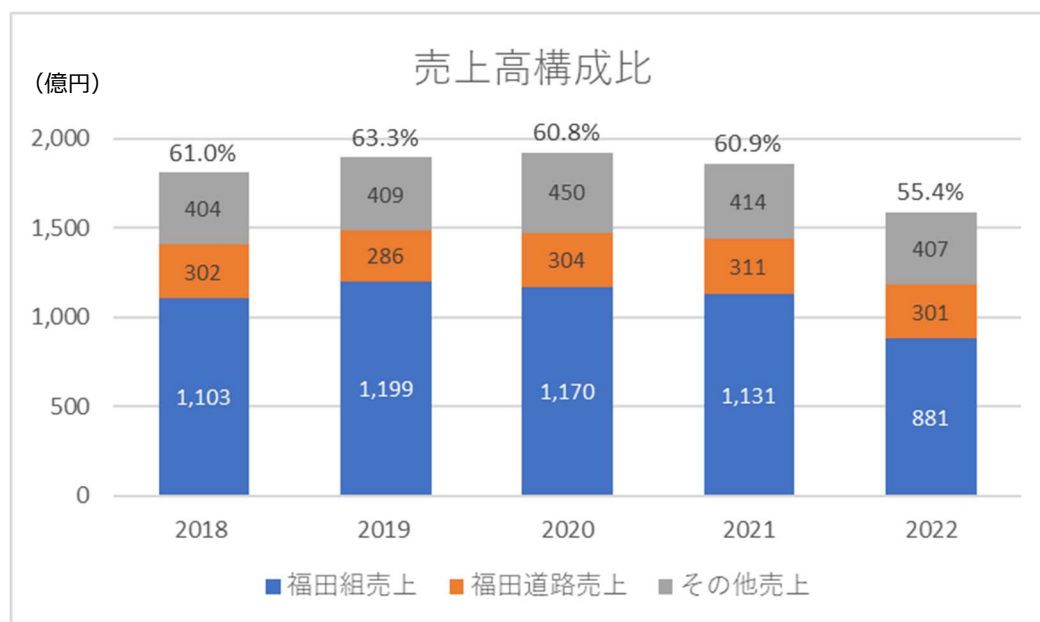


商号	株式会社福田組（Fukuda Corporation）
事業	・新潟県を地盤として全国展開する総合建設（土木・建築）会社 ・当社の企業集団は、当社、子会社27社、関連会社6社で構成 ・優良工事表彰・優良建設技術者表彰を数多く受賞 ＊平成26年度以降、国土交通省「工事成績優秀企業」認定を継続
創業	1902年（明治35年）1月
設立	1927年（昭和2年）12月
業績	売上高1,543億円、営業利益52億円（連結：2022年12月期）
資本金	51億円（2022年12月末現在）
本社所在地	新潟県新潟市中央区一番堀通町3-10
東京本社	東京都千代田区九段北3-2-4
支店・営業所	新潟県以外に北海道、東北、名古屋、大阪、九州など、全国
従業員数	2,230名（連結：2022年12月末日現在）

売上高構成比

福田組単体の売上高構成比は55.4%
福田道路、その他の業績は安定的に推移

売上高構成比
(2022年12月期)



※各構成比にあたっては、連結調整前の個別数値を使用しています。



2022年12月期決算概要

前期比減収減益

売上高 1,543億円（前期比△14.2%）
営業利益 52億円（前期比△41.4%）

売上高： コロナ禍による工事の遅延等はなく、順調に進捗が図られたものの、前期からの繰越工事量の減少が影響。

営業利益： 売上高の減少に加え、不採算工事の発生や建設資材等の物価上昇による採算面の悪化が影響して粗利益率が低下したことにより減少。

2022年12月期決算：予想を下回る業績



予想値に届かず

単位：百万円

	2021/12 ①	2022/12 ②	増減 ②-①	増減率	2022/12 業績予想
売上高	179,846	154,358	△25,487	△14.2%	155,000
売上総利益	18,744 (10.4%)	15,172 (9.8%)	△3,572	△19.1%	16,200 (10.5%)
販管費及び 一般管理費	9,852 (5.5%)	9,963 (6.5%)	110	1.1%	10,000 (6.5%)
営業利益	8,891 (4.9%)	5,208 (3.4%)	△3,682	△41.4%	6,200 (4.0%)
経常利益	9,147	5,451	△3,695	△40.4%	6,400
親会社株主帰属 当期純利益	5,864	3,650	△2,213	△37.7%	4,100

* カッコ内は対売上高比率

2022年12月期決算概要：セグメント別売上高・営業利益



単位：百万円

セグメント名		2022年12月期		
		売上高	営業利益	営業利益率
事業別	土木工事	66,279	2,906	4.4%
	建築工事	70,684	2,541	3.6%
	建設附帯	13,782	△621	△4.5%
	不動産	2,959	502	17.0%
	その他	652	43	6.7%
セグメント 小 計		154,358	5,372	3.5%
全社費用		—	△163	—
合 計		154,358	5,208	3.4%

建設附帯は、主として子会社における合材製造・販売部門と重仮設材リース部門の収益が対象。当該営業赤字の主な要因は、仕入原材料の高騰等によるもの。

2022年12月期決算概要：貸借対照表



流動資産・負債が増加

単位：百万円

	2021/12末 ①	2022/12末 ②	増減 ②-①	備考
流動資産	95,462	99,083	3,621	現金預金：+4,860
固定資産	35,292	35,268	△24	
資産合計	130,755	134,351	3,596	
流動負債	47,024	48,652	1,628	仕入債務：△2,991 短期借入金：+2,369 未成工事受入金等：+4,279
固定負債	7,318	7,195	△123	長期借入金：△111
負債合計	54,342	55,847	1,504	
純資産	76,412	78,504	2,091	
負債純資産合計	130,755	134,351	3,596	
自己資本比率（％）	57.9	57.9	0.0	

<流動資産>

・売上債権の回収が順調に進んだことから、仕入債務が減少し、現金預金が一時的に増加。

<流動負債>

・稼働工事減少により仕入債務は減少しているものの、短期借入金及び未成工事受入金等が増加。

2022年12月期決算概要：キャッシュ・フロー



財務活動キャッシュ・フローがプラスに転じたため、現金同等物期末残高は増加

単位：百万円

	2021/12 ①	2022/12 ②	増減 ②-①
現金同等物 期初残高	23,116	23,285	168
営業活動 C F	7,802	5,022	△2,779
投資活動 C F	△1,505	△ 1,133	372
フリー C F	6,297	3,889	△2,407
財務活動 C F	△6,128	970	7,099
連結範囲減少額	—	—	—
現金同等物 期末残高	23,285	28,146	4,860

- ＜営業活動CF＞ ・ 未成工事受入金が増加したものの、税金等調整前当期利益や売上債権が減少。
- ＜投資活動CF＞ ・ 有形固定資産の取得による支出は増加したが、投資有価証券の取得による支出の減少や長期貸付金回収により増加。
- ＜フリーCF＞ ・ 営業活動CFの減少により、フリーCFは減少。
- ＜財務活動CF＞ ・ 短期借入金の調達により増加。



2023年12月期通期見通し

2023年12月期業績見通し



増収を見込むも利益は横ばい

単位：百万円

	2022/12① (実績)	2023/12② (計画)	増減 ②－①	増減率
売上高	154,358	161,000	6,642	4.3%
営業利益	5,208	5,200	△8	△0.2%
経常利益	5,451	5,400	△51	△1.0%
親会社株主帰属 当期純利益	3,650	3,400	△250	△6.9%

<売上高>

- ・2022年からの次期繰越工事高の増加が寄与し増収を想定。

<営業利益>

- ・引き続き労務費及び建設資材の物価上昇が建設コストに影響すると想定されるものの、営業利益・経常利益は前期水準並の確保を目指す。

(個別) 受注高 見通し

前期比1.1%減少見込み

単位：百万円

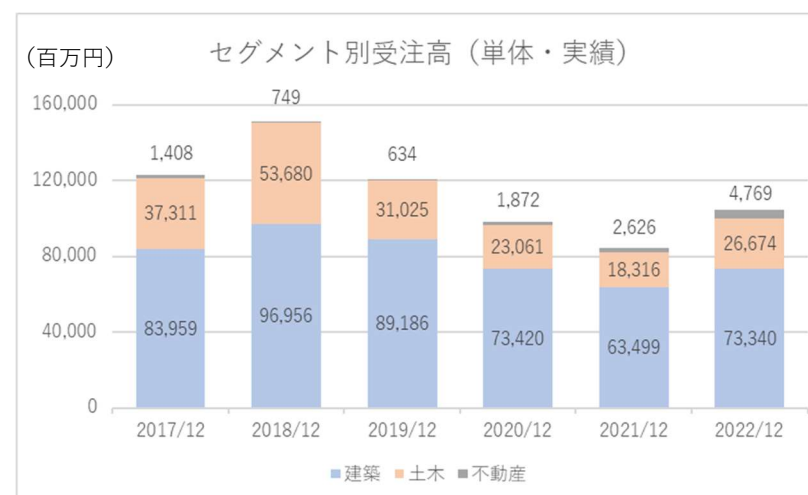
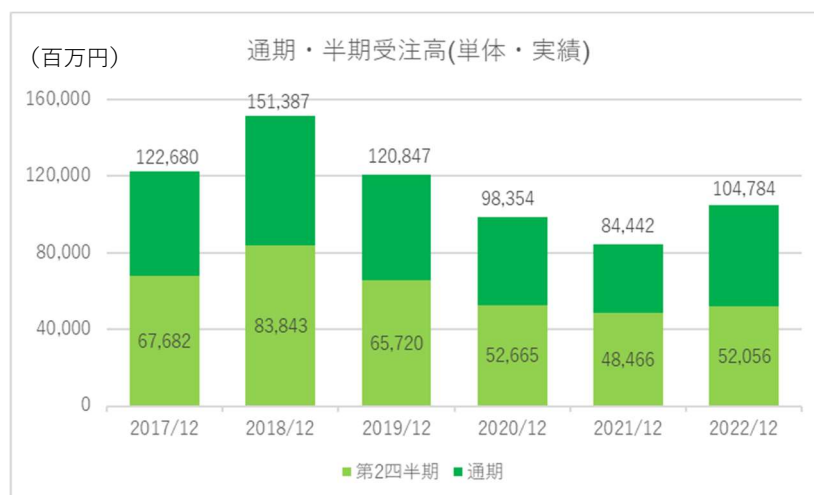
	2022/12① (実績)	2023/12② (計画)	増減 ②-①	増減率
受注高	104,784	103,660	△1,124	△1.1%
(土木)	(26,674)	(26,000)	(△674)	(△2.5%)
(建築)	(73,340)	(74,000)	(660)	(0.9%)
(不動産)	(4,769)	(3,660)	(△1,109)	(△23.3%)

<土木・建築>

・前期並の受注量の確保を目指す。

<不動産事業>

・引続き九州エリアでの販売物件の受注確保を目指す。



(個別) 土木・建築の受注高・次期繰越工事高



受注高増加に伴い、次期繰越工事高も増加

単位：百万円

	2020/12	2021/12 ①	2022/12 ②	増減 ②-①	増減率
受注高＊	96,481	81,815	100,014	18,198	22.2%
(土木)	(23,061)	(18,316)	(26,674)	(8,357)	45.6%
(建築)	(73,420)	(63,499)	(73,340)	(9,840)	15.5%
次期繰越工事高＊	125,859	97,228	110,354	(13,125)	13.5%
(土木)	(52,232)	(38,521)	(39,748)	(1,227)	3.2%
(建築)	(73,626)	(58,707)	(70,605)	(11,897)	20.3%

＊不動産開発の受注は除く。

安定的な配当・株主還元を実施

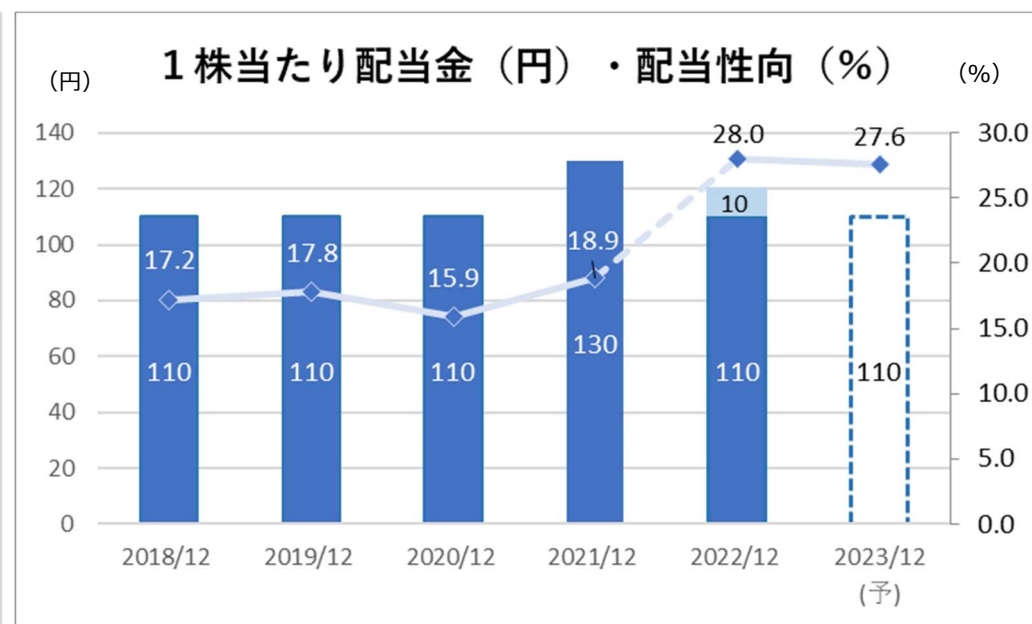
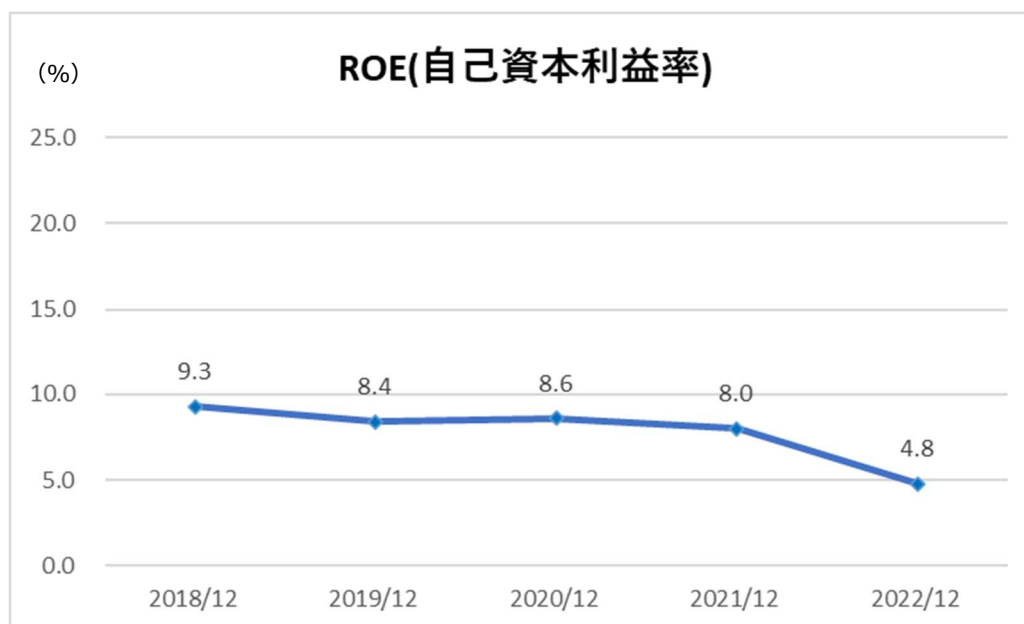


株主還元：配当性向28.0%

安定配当をベースとして、還元策の積極化を目指す

2022年12月期（予定）：120円 ※普通配当110円 記念配当10円

2023年12月期（予想）：110円





中長期経営計画の現状と今後

中期経営計画2025進捗状況

- ・ 2025年12月期目標である、売上高1,850億円、営業利益84億円、営業利益率4.5%達成に向けて、中期経営計画の基本方針に変更なし。
- ・ 中期経営計画2025では、4年間で総投資額75億円を計画。2022年度は16億円の投資を実施。今後も『質（高付加価値、ブランド、人財）の充実』に投資を行いながら、着実な成長を目指す。

●業績目標

項 目	2022年12月期 実 績	2023年12月期 計 画	2025年12月期 中期経営計画
売上高	1,543億円	1,610億円	1,850億円
営業利益	52億円	52億円	84億円
営業利益率	3.4%	3.2%	4.5%

●経営数値目標

項 目	2022年12月期 実 績	2025年12月期 中期経営計画
自己資本比率	57.9%	50%
ROE	4.8%	8%程度
配当性向	28.0%	20.0%以上

中期経営計画2025の位置づけ

当社の目指すべき姿

長期ビジョン2025 『100年の歴史の伝承と次の100年に向けた挑戦』

(2016年2月公表)

強い連結経営で
地方ゼネコンの枠を超えた全国展開

全てのステークホルダーと
WIN・WINの関係を構築

品質と安全で
顧客満足の創造

高い技術力・高い提案力
のある企業集団

優秀な人材の確保と活躍
できる環境の整備

収益性指標：ROE 安定的に8%程度

株主還元：純資産配当率2.0%又は配当性向20%を目安に

次期長期
ビジョンへ

2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

2026・・・2030・・・

前 中計2018 phase1

前 中計2021 phase2

中計2025
最終phase

- ・業績回復
- ・受注取り込み
- ・財務基盤の安定化

- ・事業のポートフォリオ変革
- ・新たな収益基盤
- ・人材の確保・多様化

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年及び
その先の
更なる飛躍へ

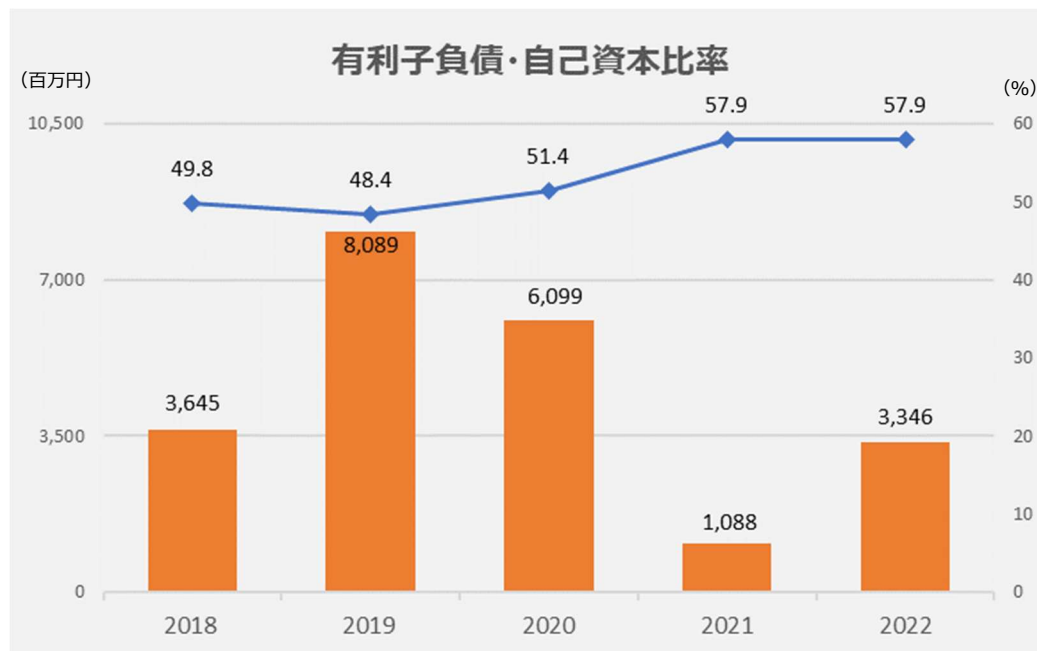
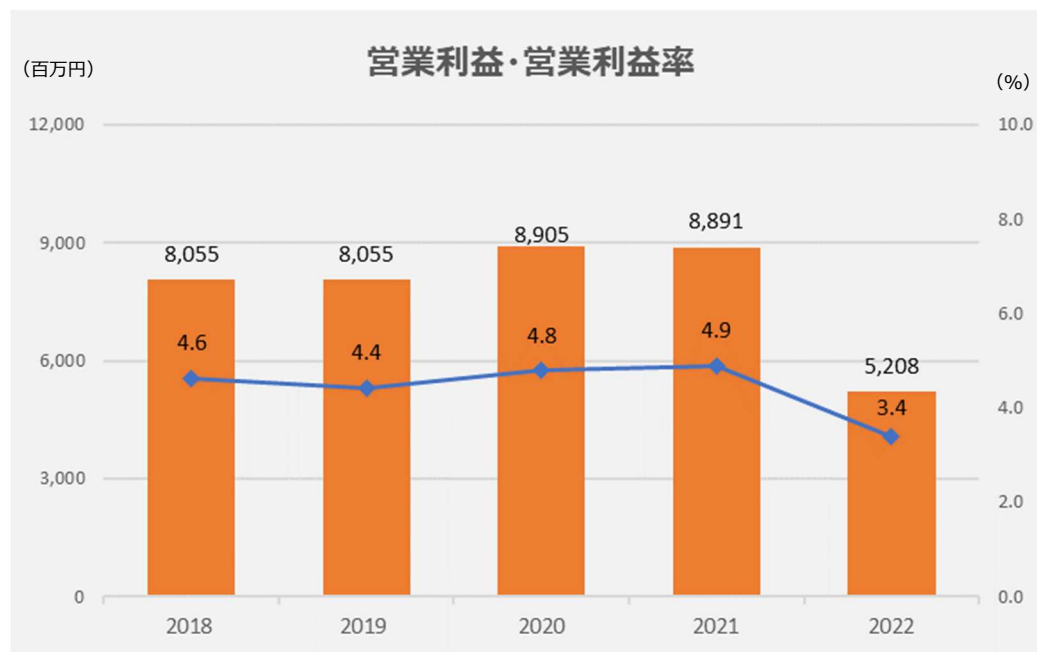
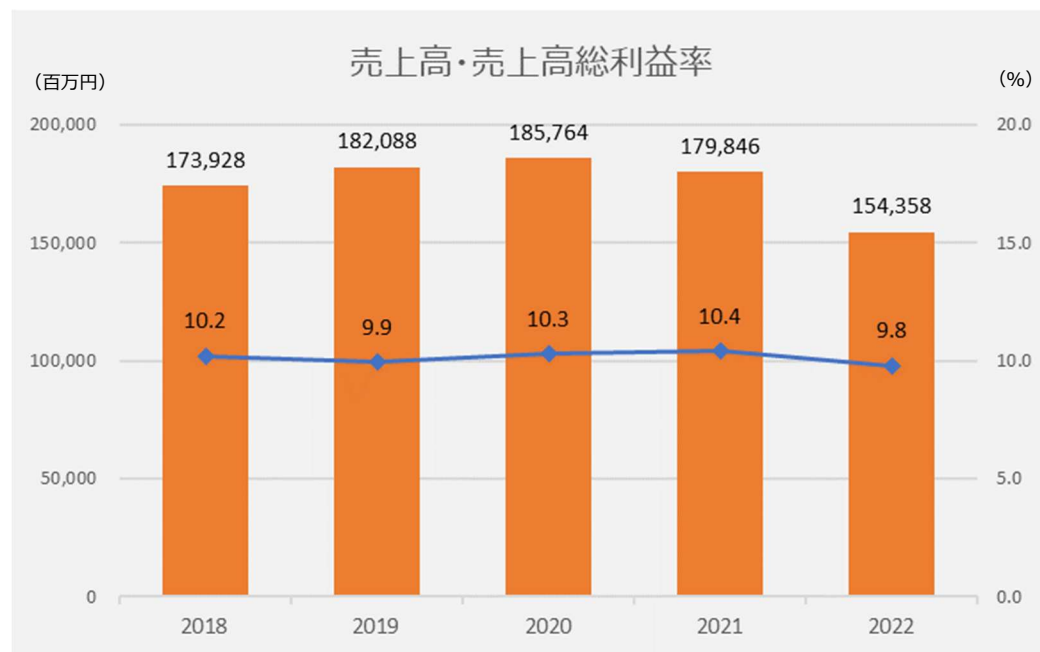


地域に根差し、地域を超えて マルチ・ステークホルダーとの 強い絆を築く



社会環境の変化を成長のエネルギーとし、真の課題に対し丁寧に向き合い、解決に向けて全力で取り組む。
柔軟な思考の変化による挑戦と、安定した経営基盤をより効率化・強固にして取り組む挑戦を同時に行い、持ち前の誠実さで、顧客・社員・株主・地域社会・協力企業にとって欠かせないパートナーを目指す。

(ご参考) 主要業績指標の推移



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、
本資料の発表日、現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、
実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がございますことをご了承ください。

100年先も誠実



株式会社福田組 証券コード：1899

2022年12月期決算説明資料

2023年2月

連絡先：経営企画部 経営管理室 TEL 025-266-9199（大代表）